

HP Pavilion All-in-One PC

コンピューターの準備

Hewlett-Packard 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

HP 以外によって製造された装置上のソフトウェアの使用または信頼性につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書には、著作権によって保護された所有権に関する情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、HP の書面による承諾なしに複写、複製、あるいは他言語へ翻訳することはできません。

Hewlett-Packard Company
P.O. Box 4010
Cupertino, CA 95015-4010
USA

© Copyright 2009 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本製品には、著作権によって保護されている技術が組み込まれています。この技術は、米国 Macrovision Corporation およびその他の権利所有者が所有する米国特許権およびその他の知的財産権によって保護されています。この技術を使用するには、米国 Macrovision Corporation の許諾が必要です。米国 Macrovision Corporation の許諾を受けていない場合、ご家庭または個人で鑑賞するなど限られた用途でのみ使用できます。また、本製品のリバースエンジニアリングおよび逆アセンブルは禁じられています。

Microsoft、Windows ロゴ、および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

HP はテクノロジーの合法的な使用を推進しており、HP の製品を著作権法で許可されていない目的で使用することを是認するものではなく、推奨もしません。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

コンピューターの準備
HP Pavilion All-in-One PC
初版 2009 年 10 月
製品番号 : 575676-291

日本ヒューレット・パッカード株式会社

表記規則

次の項では、この文書で使用されている表記規則について説明します。

警告、注意、および注

このガイドの全体にわたって、文章にアイコンが付いている場合があります。これらの文章は警告、注意、および注を示し、次のように使用されています。



警告：その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。また、その指示に従わないと、装置が破損して永久に使用できなくなったり、データが完全に失われて復元できなくなったりする恐れがある警告事項を表します。



注意：その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

注：補足情報を表します。

目次

HP Pavilion All-in-One PC のセットアップ	1
コンピューターの概要	1
コンピューターのセットアップ	3
コンピューターの初めての電源投入	4
コンピューター固有の機能	13
上下左右の向きの調整	13
Web カメラ	14
メモリーカードリーダーの使用	15
縦向きの CD/DVD ドライブの使用	17
画面の明るさの調整	17
ソフトウェアの使用	18
詳細情報の参照	21
[Windows ヘルプとサポート] の使用	21
サポート Web サイトへのアクセス	21
Web での製品マニュアルの検索	21
[PC ヘルプとツール] フォルダーの使用	21
HP Advisor ソフトウェアの使用	22
安全で快適なコンピューターの利用	22
コンピューターのアップグレード	22
トラブルシューティングおよびメンテナンス	23
コンピューターに関するトラブルの解決方法	23
ソフトウェアのトラブルシューティング	37
メンテナンス	40
システムリカバリ	42
その他のトラブルシューティング	46
索引	47

HP Pavilion All-in-One PC の セットアップ

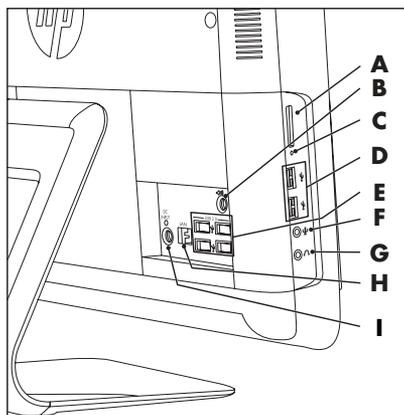
コンピューターの概要

HP Pavilion All-in-One PC

HP Pavilion All-in-One PC は、18.5 型ワイドディスプレイ搭載のスタイリッシュなコンピューターです。Web カメラ、CD/DVD の再生および作成機能、USB コネクタ、メディアカードリーダー、802.11b/g 無線ネットワーク機能、スピーカーなどが組み込まれています。

HP Pavilion All-in-One の機能

機能はモデルにより異なります。お使いのコンピューターは、このガイドの図や説明と一部異なる場合があります。

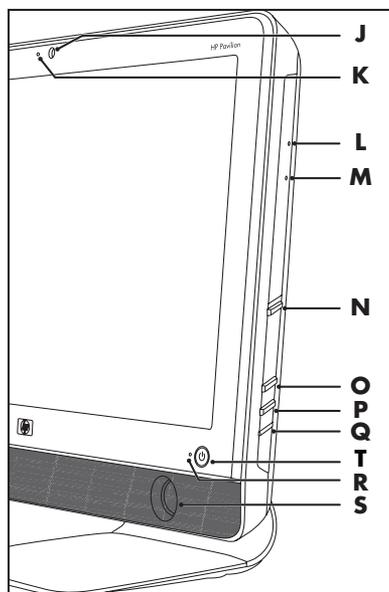


名称

説明

A	メモリカードリーダー	内蔵のメモリカードリーダーです。サポートされる形式には、xD メディア (xD)、Secure Digital (SD)、Secure Digital High Capacity (SDHC)、マルチメディアカード (MMC)、マルチメディアカード plus (MMC+)、メモリースティック (MS)、メモリースティック PRO (MS-Pro) があります。メモリカードリーダーは、MiniSD、RS-MMC、MicroSD、MS-Duo、および MS Pro Duo の各メモリカードのアダプター (別売) もサポートします。
B	オーディオライン出力	2.0 および 2.1 電源付き外付けスピーカーを接続します。

名称	説明（続き）
C メモリカードリーダー動作ランプ	メモリカードリーダーの動作を示します
D USB 2.0 コネクター(× 2)	プリンター、外付けハードドライブ、デジタルカメラ、MP3 プレーヤーなどの USB 2.0 対応デバイスを接続します
E USB 2.0 コネクター(× 4)	プリンター、外付けハードドライブ、デジタルカメラ、MP3 プレーヤーなどの USB 2.0 対応デバイスを接続します
F マイクコネクター	外付けマイクを接続します
G ヘッドフォンコネクター	ヘッドフォンを接続して、音楽を聴くことができます
H イーサネット（ローカルエリアネットワーク：LAN）コネクター	有線ネットワークを使用してインターネットに接続します
I 電源コネクター	電源アダプターをコンピューターに接続します



名称	説明（続き）
J Web カメラ	表示、電子メールでの送信、および動画共有サイトへのアップロードが可能なビデオとスナップショットを作成します。内蔵 Web カメラおよびマイクを使用して、友人や家族とビデオチャットを行います（インターネットへの接続が必要です）

2 コンピューターの準備（機能はモデルにより異なります）

名称	説明（続き）
K 内蔵マイク	Web カメラビデオのサウンド録音や、オンラインでのビデオチャットに使用します
L オプティカルディスク緊急取り出しホール	オプティカルディスク取り出しボタンが機能しない場合は、この穴にピンの先などを差し込んでディスクを取り出します
M オプティカルディスクドライブおよびランプ	お気に入りの DVD を観たり、CD コレクションを聴いたりします。CD および DVD に書き込みます *。ランプはドライブにディスクが入っているかどうかを示します *HP はテクノロジーの合法的な使用を推進しており、HP の製品を著作権法で許可されていない目的で使用することを是認も推奨もいたしません
N オプティカルディスク取り出しボタン	オプティカルディスクを挿入するか取り出すために、オプティカルドライブを開きます
O 明るさ調節ボタン (+)	画面の明るさを上げます
P 明るさ調節ボタン (-)	画面の明るさを下げます
Q ハードドライブ動作ランプ	ハードドライブの動作を示します
R 電源ランプ	青色は電源が入っていることを示し、オレンジ色はスリープモードまたはハイバネーションモードを示します
S 内蔵スピーカー	音楽を聴いたり、ホームビデオや DVD を観たりするときに、内蔵の高音質ステレオスピーカーを使用して、迫力のある音声を楽しめます
T 電源 / スタンバイボタン	コンピューターの電源を入れるとき、またはスリープモードにするときに押します

コンピューターのセットアップ



警告：コンピューターを電源システムに接続する前に、『サポートガイド』の「安全に関する情報」を参照してください。

『クイックセットアップ』の手順に沿って、コンピューターをセットアップします。4 ページの「コンピューターの初めての電源投入」を参照してください。

コンピューターの設置状況の確認

以下の点を守って、コンピューターを適切な場所に設置してください。

- 本体の前後に十分な間隔を空け、通気孔を塞がないような場所に置いてください。
- すべてのケーブルを、作業の妨げにならないように配置します。ケーブルを通路、家具の下、または踏まれるような場所に敷設しないでください。

モニター、コンピューター、オプション製品などを保護するために、すべての電源コードをサージ保安器に接続します。サージ防止機能のあるマルチソケット（テーブルタップ）、無停電電源装置（UPS）、または同様の機能を持つ機器を使用してください。

コンピューターに関する追加の印刷物や最新情報が梱包箱に入っている場合がありますので、確認してください。

コンピューターの初めての電源投入

『クイックセットアップ』に記載されている手順が完了したら、コンピューターの電源を入れることができます。

注：初めてコンピューターの電源を入れた後、初回セットアップを完了するまでは、他のデバイスをコンピューターに接続または追加しないでください。

コンピューターの電源を入れるには、以下の手順で操作します。

- 1 電源ボタンを押します。
- 2 外付けスピーカーがある場合は、その電源を入れます。
- 3 画面の説明に沿って操作し、コンピューターと Microsoft® Windows® 7 をセットアップします。
 - お住まいの国または地域を選択する画面が表示された場合は項目を選択し、コンピューターの準備が終わるまで待ちます。（別の言語を選択した場合、1回の言語セットアップに30分程度かかることがあります。）
 - ウィルス対策ソフトウェアが自動的に開く場合があります。画面の説明に沿って操作してセットアップを行います。これにより、コンピューターと個人データが保護されます。
- 4 Windows のデスクトップが表示されたら、初回セットアップは完了です。

コンピューターで作業を開始する方法については、このセクションの残りのトピックを参照してください。

コンピューターの電源切断

コンピューターの修復を行ったり、新しいハードウェアやカードをコンピューターに取り付けたり、バッテリーを交換したりするなど安全上の理由がある場合は、コンピューターの電源を切る必要があります。また、長期間使用しない場合にも、コンピューターの電源を切ることをおすすめします。

コンピューターのシャットダウンの代わりに、コンピューターをロックしたり、スリープモードまたはハイバネーションモードにしたりすることができます。電源タイマーを設定すると、自動的にコンピューターをスリープモードまたはハイバネーションモードに変えることができます。

コンピューターには、以下の省電力状態があります。

- スリープモードでは、開いているファイルやプログラムが保存された後に、省電力状態に入ります。スリープモードの間は電源ランプが消灯し、コンピューターはすぐにスリープモードを解除できます。
- ハイバネーションモード（詳細な電源設定として使用できます）では、システムメモリがハードディスク上の一時ファイルに保存され、ハードウェアがオフになります。コンピューターを再びオンにすると、ユーザーが開いていたプログラム、フォルダー、文書が画面に復元されます。

コンピューターの再起動

コンピューターを再起動すると、一部の設定が消去され、オペレーティングシステムとソフトウェアが初めから起動しなおされます。再起動は、ソフトウェアを使用中に発生する多くの問題を解決できる、最も簡単かつ効果的な手段です。

また、ソフトウェアプログラムまたはハードウェアデバイスをコンピューターに追加した時に、コンピューターの再起動が必要になることがあります。

コンピューターを再起動するには、以下の手順で操作します。

- 1 Windows の [スタート] ボタンをクリックします。
- 2 [シャットダウン] の隣の矢印ボタンをクリックして、[再起動] をクリックします。

または

コンピューター前面にある電源ボタンを短く押します。

サウンドオプション

お使いのコンピューターでは以下のサウンドオプションがサポートされます。

- 内蔵アナログステレオスピーカー
- アナログ 2.0 または 2.1 電源付きスピーカー
- ヘッドフォン

注：

- お使いのコンピューターでは、電源付きスピーカーシステムのみがサポートされます。電源付きスピーカーは、別途電源に接続する必要があります。
- 初期設定では、内蔵スピーカーがオンになっています。

アナログ 2.0 または 2.1 電源付きスピーカーの接続

(別売)

アクティブスピーカー（左右のステレオスピーカー、2 個のスピーカーとサブウーファーからなる 2.1 システムなど）をコンピューターに接続するには、以下の手順で操作します。

- 1 スピーカーシステムの電源がオフになっていて、プラグが抜かれていることを確認します。
- 2 2.0 電源付きスピーカーの場合は、スピーカーのケーブルをコンピューターの背面にあるオーディオライン出力コネクタに接続します。

または

2.1 電源付きスピーカーの場合は、サブウーファーをコンピューターの背面にあるオーディオライン出力コネクタに接続し、左右のスピーカーをサブウーファーに接続します。

- 3 スピーカーシステムの電源を入れます。必要に応じて、スピーカーに付属の説明書を参照してください。



注：オーディオライン出力デバイスまたはヘッドフォンを差し込むと、内蔵スピーカーはミュート（消音）されます。

ヘッドフォンの接続

(別売)

- お使いのコンピューターの側面にヘッドフォンコネクターがあります。
- ヘッドフォンコネクターには、ヘッドフォンのアイコンが付いています。
- ヘッドフォンを差し込むと、内蔵スピーカーおよび外付けスピーカー（接続している場合）のサウンドはミュート（消音）されます。



マイクの接続

(別売)

- お使いのコンピューターには、前面の Web カメラの隣にマイクが内蔵されています。
- コンピューターの側面にもマイクコネクターがあります。ここには外付けマイクを接続します。
- マイクを選択して音量を調節するには、6 ページの「マイクを選択」を参照してください。



スピーカーの音量の調整

音量を調整するには、いくつかの方法があります。Windows 7 のタスクバーにある音量アイコンを使用して、スピーカーの音量を設定します。その後、以下を使用して音量を調整できます。

- キーボードの音量ボタン（一部のモデルのみ）
- スピーカーの音量のつまみ（一部のモデルのみ）

スピーカーの音量を設定するには、タスクバーの音量アイコンを使用して、以下の手順で操作します。

- 1 タスクバーの **[音量]** アイコンを右クリックして、**[音量ミキサーを開く]** をクリックします。

[音量ミキサー] の設定ウィンドウが開きます。

- 2 スライダーをクリックおよび移動して、音量を調整します。
- 3 目的の音量レベルに調整できたら、右上隅にある **[X]** をクリックしてウィンドウを閉じます。



オーディオの問題については、29 ページの「オーディオおよびスピーカー」のトラブルシューティングの各項目を確認してください。詳しくは、[Windows ヘルプとサポート] を開くか、またはサポート Web サイトを参照してください（21 ページの「詳細情報の参照」を参照）。

マイクを選択

コンピューターのマイクコネクターは、そのまま使用できるようになっています。複数のマイクを接続している場合は、Windows 7 で使用するマイクを選択します。

注：Web カメラまたはオーディオプレーヤーをコンピューターに接続している場合、Windows 7 では、そのデバイスからのオーディオ入力がマイク入力として認識される可能性があります。

Windows 7 で使用するマイクを選択するには、以下の手順で操作します。

- 1 タスクバーの **[音量]** アイコンを右クリックして、**[録音デバイス]** をクリックします。[サウンド] ウィンドウが開きます。
- 2 使用するマイクを選択して **[既定値に設定]** → **[適用]** の順にクリックします。
- 3 **[OK]** をクリックします。



- 6 コンピューターの準備（機能はモデルにより異なります）

Windows 7 でのマイクの録音レベルの調整

マイクの録音レベルを調整するには、以下の手順で操作します。

- 1 タスクバーの [音量] アイコンを右クリックして、[録音デバイス] をクリックします。[サウンド] ウィンドウが開きます。
- 2 使用するマイクのコネクタをダブルクリックします。
- 3 [レベル] タブをクリックします。
- 4 スライダーをクリックおよび移動して、マイクの録音レベルを調整します。
[OK] をクリックし、もう一度 [OK] をクリックします。



ネットワークへの接続

ここでは、有線接続または無線接続によるネットワークへの接続について説明します。

- お使いのコンピューターは、プリンターなど他のデバイスに接続可能な無線または有線 LAN をサポートしています。
- インターネットへの接続は通常ブロードバンドモデム（デジタル加入者回線（DSL）またはケーブル）を通じて行います。これには別途契約が必要です。

無線アクセスポイントおよびインターネットサービスの契約が別途必要です。初めてネットワークを導入する場合に必要な手順は以下のとおりです。

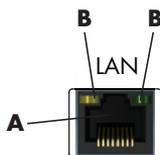
- 1 インターネットサービスプロバイダー（ISP）から高速インターネットサービスを購入します。
- 2 ブロードバンドモデム（DSL またはケーブル）を購入します。これは、ISP から提供される場合もあります。
- 3 無線ルーター（別売）が必要な場合は、購入して設置します。

注：ブロードバンドモデムおよびルーターの設置手順は、製造販売元によって異なります。製造販売元の説明書を参照してください。

有線のイーサネットネットワーク接続のセットアップ

イーサネット接続はネットワークインターフェイスアダプター、ネットワークインターフェイスカード、または NIC とも呼ばれます。Ethernet（10BaseT）または Fast Ethernet（100BaseT）ネットワークへの高速またはブロードバンド接続を実現します。この方法で LAN などのネットワークに接続したら、ネットワークを通じてインターネットにアクセスできるようになります。

- 1 イーサネットケーブルをコンピューター背面のイーサネット（RJ-45）コネクタ（A）および、ネットワークルーターや LAN デバイスに接続します。



- 2 コンピューターの電源を入れた状態で、イーサネットコネクタの隣のランプ（B）の状態を確認します。
 - **ACTIVITY**：ネットワークデータ転送中に黄色に点灯します。
 - **LINK**：ネットワーク接続が有効な場合に緑色に点灯します。

無線ネットワーク接続のセットアップ

(一部のモデルのみ)

- IEEE 802.11bまたは802.11gをサポートする無線ネットワークにコンピューターを接続できます。
- インターネット接続が可能な既存の無線 LAN が必要です。詳しくは、契約しているインターネットサービスプロバイダー (ISP) に問い合わせてください。
- 無線 LAN デバイスがコンピューターに適切に取り付けられていることを確認するには、9 ページの「無線 LAN デバイスの装備の確認」を参照してください。

無線ネットワークのセットアップについて詳しく調べるには、[スタート] → [ヘルプとサポート] の順にクリックし、ヘルプの検索ボックスに「無線ネットワークのセットアップ」と入力して [Enter] キーを押します。

インターネットへの接続

- 1 ハードウェアの接続については、3 ページの「コンピューターのセットアップ」を参照してください。
- 2 ネットワークの接続については、7 ページの「ネットワークへの接続」を参照してください。
- 3 無線 LAN デバイスの取り付けを確認するには、9 ページの「無線 LAN デバイスの装備の確認」を参照してください。
- 4 インターネットに接続するには、以下の手順で操作します。
 - ISP に申し込みます。ISP のアカウントをすでに持っている場合、この手順は省略し、ISP からの指示に沿って操作してください。
 - コンピューターの初回セットアップ時にインターネットサービスの設定を行わなかった場合は、[コントロール パネル] の [ネットワークとインターネット] からインターネットサービスの設定を行います。
 - a [スタート] ボタンをクリックします。
 - b [コントロール パネル] をクリックします。
 - c [ネットワークとインターネット] をクリックして、[ネットワークと共有センター] をクリックします。
 - d [新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリックします。
 - e 接続の方法を選択します。
 - f ISP の情報を入力し、インターネットサービスを設定します。
- 5 ISP のデスクトップアイコンをダブルクリックし、ログインします (一部の ISP では操作が異なります)。
- 6 インターネットに接続します。ISP を介して接続する必要があります。
- 7 Web ブラウザーを開き、インターネットを参照します。

任意の Web ブラウザーを使用できますが、多くのコンピューターには Microsoft Internet Explorer[®] がインストールされています。Internet Explorer を開くには、以下の手順で操作します。

 - a [スタート] ボタンをクリックします。
 - b [Internet Explorer] をクリックします。

注：インターネットへの接続に問題がある場合は、30 ページの「インターネットアクセス」を参照してください。

- 8 コンピューターの準備 (機能はモデルにより異なります)

無線 LAN デバイスの装備の確認

Windows オペレーティングシステムの [デバイス マネージャー] を使用して、内蔵無線 LAN デバイスがコンピューターに正しく装備されていることを確認できます。

- 1 [スタート] ボタンをクリックします。
- 2 [プログラムとファイルの検索] ボックスに「デバイス マネージャー」と入力して [デバイス マネージャー] をクリックし、[デバイス マネージャー] ウィンドウを開きます。
- 3 [ネットワーク アダプター] をダブルクリックします。お使いの無線 LAN デバイスが一覧に表示されます。無線 LAN デバイスの名前には wireless、wireless LAN、802.11 などの用語が含まれている可能性があります。

注：無線 LAN デバイスが一覧に表示されない場合は、内蔵無線 LAN デバイスがコンピューターに装備されていないか、デバイスのドライバーが正しくインストールされていません。

- 4 [スタート] ボタンをクリックします。
- 5 [プログラムとファイルの検索] ボックスに「ネットワークと共有センター」と入力し、[ネットワークと共有センター] をクリックして [ネットワークと共有センター] ウィンドウを開きます。
- 6 [ネットワークに接続] をクリックし、画面の説明に沿って操作します。

無線セキュリティ機能の使用

家庭用無線 LAN や既存の公共無線 LAN へのアクセスをセットアップする時は、常にセキュリティ機能を有効にして、ネットワークを不正なアクセスから保護してください。最も一般的なセキュリティレベルは、WPA パーソナル (Wi-Fi Protected Access Personal) および WEP (Wired Equivalent Privacy) です。

ネットワークをセットアップする場合は、以下に示すセキュリティ対策を 1 つ以上行います。

- ルーターで WAP パーソナルまたは WEP セキュリティ暗号化を有効にします。
- 初期設定されているネットワーク名 (SSID) およびパスワードを変更します。
- ファイアウォールをセットアップします。
- Web ブラウザーでセキュリティ設定を行います。

コンピューターの保護

以下のものを利用することにより、コンピューター、個人用設定、およびデータをさまざまな危険から保護します。

- パスワード
- ウィルス対策ソフトウェア
- ファイアウォールソフトウェア
- 重要なセキュリティアップデート

注：セキュリティ機能に抑止効果はありますが、ソフトウェアによる攻撃、コンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません。

コンピューターへの脅威	コンピューターの機能
コンピューターまたはユーザーアカウントの不正な使用	ユーザーパスワード
コンピューターウイルス	ウイルス対策プログラム
データへの不正なアクセス	ファイアウォールプログラム Windows アップデート
セットアップユーティリティ、BIOS 設定、およびその他のシステム識別情報への不正なアクセス	管理者パスワード
コンピューターに対する現在または将来の脅威	Microsoft が提供する Windows の重要なセキュリティアップデート

パスワードの使用

パスワードは、コンピューターの情報を保護するためにユーザーが指定する文字列です。情報へのアクセスの制御方法に応じて、複数のパスワードを設定することができます。パスワードは、コンピューターにインストールされた Windows オペレーティングシステムで設定することができます。



注意：コンピューターにアクセスできなくなることを防ぐため、自分で設定したパスワードは書き留めておいてください。パスワードの設定、変更、削除を行うとき、パスワードは表示されないため、各パスワードをすぐに記録し、他人の目に触れない安全な場所に保管しておく必要があります。コンピューター内のファイルにパスワードを保存しないでください。

Windows の複数のセキュリティ機能に同じパスワードを使用できます。Windows で設定したパスワードは、Windows の画面で入力する必要があります。

Windows のパスワードについて詳しく調べるには、[スタート] ボタン → [ヘルプとサポート] の順にクリックし、[Windows ヘルプとサポート] のヘルプの検索ボックスに「パスワード」と入力して [Enter] キーを押します。21 ページの「[Windows ヘルプとサポート] の使用」を参照してください。

ウイルス対策ソフトウェアの使用

コンピューターで電子メールやネットワークを使用したりインターネットにアクセスしたりする場合、コンピューターがコンピューターウイルスの危険にさらされます。コンピューターウイルスに感染すると、オペレーティングシステム、ソフトウェアプログラム、ユーティリティなどが使用できなくなる場合があります。

ウイルス対策ソフトウェアを使用すると、既知のウイルスを検出および駆除したり、多くの場合はウイルスの被害にあった箇所を修復したりできます。新しく発見されたウイルスからコンピューターを保護するには、ウイルス対策ソフトウェアを最新の状態にしておく必要があります。

コンピューターにプリインストールされているウイルス対策プログラムには、ウイルス対策およびファイアウォールコンポーネントが含まれます。このソフトウェアの試用期間中は、無料で保護機能をアップデートできます。試用期間を過ぎた後も新しいウイルスからコンピューターを保護するには、延長アップデートサービスを購入します。ウイルス対策ソフトウェアの使用方法和アップデート方法、および延長アップデートサービスの購入方法については、ウイルス対策プログラム内で確認できます。

コンピューターウイルスについて詳しく調べるには、[スタート]ボタン→[ヘルプとサポート]の順にクリックし、[Windows ヘルプとサポート]のヘルプの検索ボックスに「ウイルス」と入力して[Enter]キーを押します。21 ページの「[Windows ヘルプとサポート]の使用」を参照してください。

ファイアウォールソフトウェアの使用

コンピューターで電子メールやネットワークを使用したりインターネットにアクセスしたりする場合、使用者や使用しているコンピューターの情報を第三者が不正に取得してしまう可能性があります。プライバシーを保護するには、ファイアウォールソフトウェアを使用します。

- Windows には、ファイアウォールソフトウェアが含まれています。
- コンピューターにプリインストールされているウイルス対策プログラムにも、ファイアウォールコンポーネントが含まれています。

ファイアウォールは、ログ、レポート、自動アラームなどの機能を使って、コンピューターでの送受信の流れを監視します。

状況によっては、ファイアウォールはインターネットゲームへのアクセスをブロックしたり、ネットワーク上のプリンターやファイルの共有を妨害したり、承認済みの電子メール添付ファイルをブロックしたりすることがあります。この問題を一時的に解決するには、ファイアウォールを無効にして目的のタスクを実行した後、再びファイアウォールを有効にします。問題を完全に解決するには、ファイアウォールを再設定します。

コンピューターでの Microsoft のソフトウェア自動アップデートの設定

Microsoft では、継続的に Windows オペレーティングシステムをアップデートしています。Windows Update を毎月実行してアップデートをインストールするか、または自動更新機能を使用してオペレーティングシステムを最新の状態に保つようしてください。

インターネットに接続している場合、重要なアップデートが利用できるようになると、Windows Update はポップアップメッセージまたは通知領域のアイコンを通して自動的にユーザーに通知します。Windows Update のメッセージが表示されたら、アップデートをシステムにダウンロードすることを許可します。毎週または毎月、システムを更新している場合、ダウンロードにかかる時間はわずかです。

重要なセキュリティアップデートのインストール



注意：お使いのコンピューターをセキュリティの侵害やコンピューターウイルスから保護するため、通知を受け取った時点で速やかに **Microsoft** 社が提供する重要なアップデートをすべてインストールしてください。

オペレーティングシステムおよびその他のソフトウェアの追加アップデートが、コンピューターの出荷後にリリースされている可能性があります。利用可能なすべてのアップデートをダウンロードし、コンピューターにインストールします。

ユーザーアカウントの設定

複数のユーザーとコンピューターを共有する場合、各コンピューターユーザーのユーザーアカウントを設定できます。Windows は、ユーザーアカウントの情報を使用して、そのコンピューターユーザーがアクセスできるファイルやフォルダー、どんな場合にコンピューターに変更を加えることができるか、および個人設定を判別します。各ユーザーは、自分のファイルおよび設定のみアクセスできます。

詳しくは、[スタート] ボタン→[ヘルプとサポート] の順にクリックし、[Windows ヘルプとサポート] のヘルプの検索ボックスに「ユーザーアカウント」と入力して [Enter] キーを押します。21 ページの「[Windows ヘルプとサポート] の使用」を参照してください。

ソフトウェアおよびハードウェアデバイスを追加するときのガイドライン

コンピューターをセットアップし、初回セットアップを完了した後、ソフトウェアプログラムまたはハードウェアデバイスを追加することもできます。以下の重要なガイドラインをお読みください。

- 追加する前に、Microsoft の [システム復元] プログラムを使って復元ポイントを作成します。復元ポイントは、コンピューター設定のスナップショットです。[システムの復元] を利用することにより、安定した設定を確保できていることとなります。
- コンピューターに対応しているソフトウェアの選択：新しいソフトウェアが対応しているオペレーティングシステム、メモリ、その他の要件を確認します。
- ソフトウェアの製造販売元が提供している説明に沿って操作し、新しいソフトウェアをインストールします。解決できない点がある場合は、製造販売元の説明書またはサポート窓口で確認してください。
- ウィルス対策ソフトウェアの場合は、既存のソフトウェアプログラムをアンインストールした後、再インストールまたは新しいウィルス対策ソフトウェアのインストールを実行します。

注：ライセンスのあるオリジナルのソフトウェアのみを使用してください。不正にコピーされたソフトウェアをインストールすることは違法行為であり、不安定な動作またはコンピューターのウィルス感染を招く危険性があります。

古いコンピューターから新しいコンピューターへのファイルおよび設定の転送

CD、DVD、メモリスティック、パーソナル・メディア・ドライブなどのメディアを使用するか、または Windows 転送ツールケーブルを使用して、古いコンピューターから新しいコンピューターにファイルをコピーすることができます。ファイルの転送、および Web ブラウザーのお気に入りやアドレス帳などの特定の設定のコピーを行うには、Windows 7 に含まれている Windows 転送ツールソフトウェアを使用します。

Windows 転送ツールソフトウェアでは、ファイルおよび設定を、記憶装置にコピーするか、または新しいコンピューターに接続された転送ツールケーブルを介してコピーすることができます。転送ツールケーブルは、2 台のコンピューターを接続して、Windows 転送ツールソフトウェアとともに使用するために特別に設計された USB ケーブルです。（このケーブルは別売です。）標準の USB ケーブルは使用できません。

ファイルおよび設定を転送するには、以下の手順で操作します。

- 1 [スタート] ボタンをクリックします。
- 2 [プログラムとファイルの検索] ボックスに「Windows 転送ツール」と入力して **[Windows 転送ツール]** をクリックします。
- 3 Windows 転送ツールウィザードの画面の説明に沿って操作し、古いコンピューターから新しいコンピューターにファイルを転送します。

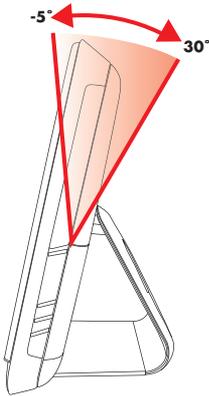
詳しく調べるには、タスクバーにある [スタート] ボタン→[ヘルプとサポート] の順にクリックし、[Windows ヘルプとサポート] のヘルプの検索ボックスに「ファイルの移動」と入力して [Enter] キーを押します。21 ページの「[Windows ヘルプとサポート] の使用」を参照してください。

コンピューター固有の機能

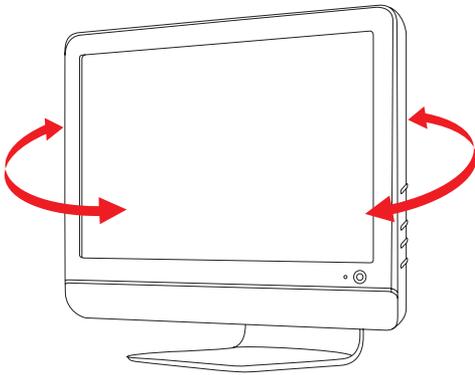
上下左右の向き調整

画面を最適な角度で見られるよう、向きを調整できます。

- 1 コンピューターの正面を向きます。傾きを調整する際にコンピューターを倒してしまわないよう、台を押さえます。
- 2 画面に触れないようにしながら、本体の上部を手前または奥に動かします（可動範囲は -5° ～ 30° です）。



コンピューターの左右の向きを調整することもできます。

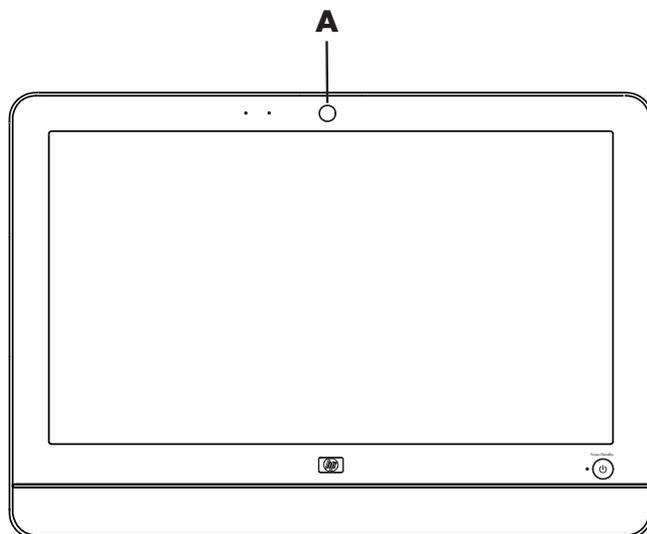


Web カメラ

Web カメラ (A) はコンピューターの前面上部にあります。

Web カメラを使用して以下のことを行います。

- コンピューター上のファイルを使用してビデオを作成します。
- スナップショットを撮影して、表示、整理、編集、送信、印刷します。
- ビデオメモを作成してカレンダーの見た目を工夫したり、他の人と共有したりします。
- Windows Live Messenger などの対応しているソフトウェアプログラムを使用して、ビデオチャットを行います。
- 撮影した動画を動画作成プログラムにインポートして、保存、送信、Web へのストリーミング、ディスクへの記録を行います。



Web カメラでの動画やスナップショットの撮影

CyberLink YouCam を使用して Web カメラの動画やスナップショットを撮影する方法を参照するには、以下の手順で操作します。

- 1 【スタート】ボタンをクリックします。
- 2 【すべてのプログラム】→【CyberLink YouCam】→【CyberLink YouCam】の順にクリックします。
- 3 【チュートリアル】をクリックして、操作手順を説明する動画を再生します。

ビデオチャットや電話会議の実施

ビデオチャットをセットアップするには、インターネットに接続されていること、ISP との契約、およびインターネット経由のビデオ通話を可能にするソフトウェアが必要です。チャットソフトウェアやインスタントメッセージングソフトウェアと同様、複数の相手と同時にチャットできません。ソフトウェアは別途購入する必要がある場合があります。

コンピューター前面の Web カメラの隣に内蔵マイクがあります。コンピューター側面には、外付けマイク用のコネクタがあります。録音するときの最適な距離は、マイクから 0.5 m です。

ビデオチャットをセットアップするには、事前に以下のことを行います。

- 1 インターネットメッセージャーまたはビデオ通話プログラムをダウンロードします。通話する相手が、対応するビデオ通話ソフトウェアを持っている必要があります。
- 2 Web カメラをビデオ入力機器に設定します。通常これは、お使いのソフトウェアプログラムの [ツール] メニューにあるビデオのセットアップ画面で行います。
- 3 ビデオ通話ソフトウェアプログラムの説明に沿って、ビデオ通話を行います。

CyberLink YouCam でビデオチャットを始めるには、以下の手順で操作します。

- 1 [スタート] ボタンをクリックします。
- 2 [すべてのプログラム] をクリックします。
- 3 [**CyberLink YouCam**] → [**CyberLink YouCam**] → [**ビデオ通話の開始**] の順にクリックします。

メモリーカードリーダーの使用

お使いのコンピューターには、マルチフォーマット対応のシングルスロットメモリーカードリーダーが装備されています。デジタルカメラおよびその他のデジタル画像デバイスは、デジタル画像ファイルの保存にメモリーカードまたはメディアを使用します。メモリーカードリーダーは、さまざまな種類のメモリーカードを読み書きすることができます。

サポートされるメモリーカードまたはメディアには、以下のフォーマットが含まれます。

- xD メディア (xD)
- Secure Digital (SD)
- Secure Digital High-Capacity (SDHC)
- マルチメディアカード (MMC)、マルチメディアカード plus (MMC+)
- メモリースティック (MS)
- メモリースティック Pro (MS Pro)

アダプターを使用すると、以下のメディアカードもサポートされます。

- Mini Secure Digital (Mini SD)
- Micro Secure Digital (Micro SD)
- Reduced-size マルチメディアカード (RS-MMC)
- メモリースティック Duo (MS Duo)
- メモリースティック Pro Duo (MS Pro Duo)

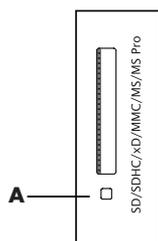
カードリーダーには、コンピューター側面から直接アクセスできます。

メディアを挿入すると、[ハードウェアの安全な取り外し] ウィンドウが表示される可能性があります。このウィンドウが表示された場合、または、間違えてこのウィンドウを開いてしまった場合は、[閉じる] をクリックします。



注意：USB 大容量記憶装置が選択された状態では、[ハードウェアの安全な取り外し] ウィンドウで [停止] をクリックしないでください。これを実行した場合、メモリーカードリーダーがオペレーティングシステムから認識されなくなり、メモリーカードリーダーを再び表示するためにコンピューターを再起動する必要があります。すべてのメディアの読み込みおよび書き込みをサポートするものではありません。

メモリーカードリーダー



※カードリーダーの形状や動作ランプの位置はモデルにより異なります。

動作ランプ (A) が点滅している場合は、コンピューターがメモリーカードにアクセスして読み取りまたは書き込みを行っていることを示します。

メモリーカードリーダーを使用するには、以下の手順で操作します。

- 1 メディアをカードスロットに完全に挿入します。
メモリーカードリーダーの動作ランプ (A) が点灯し、コンピューターが自動的にメディアを検出します。

注：メディアを正しく挿入する必要があります。メディアの角が切れている方向に注意してください。詳しくは、[Windows ヘルプとサポート] を開くか、またはサポート Web サイトを参照してください (21 ページの「詳細情報の参照」を参照)。また、CF Ultra/III などの一部のメモリーカードは、コンピューターに付属のメモリーカードリーダーに対応していません。

- 2 ファイルにアクセスするプログラムを選択します。メディアにファイルをコピーしたり、メディアからファイルをコピーしたりすることができます。
または
[自動再生] ウィンドウが開かない場合、タスクバーにある [スタート] ボタン → [コンピューター] の順にクリックしてから、[メモリーカード] アイコンをダブルクリックし、メディア上のファイルを表示します。メディアにファイルをコピーしたり、メディアからファイルをコピーしたりすることができます。
- 3 終了後、ドライブアイコンを右クリックして [取り出し] をクリックし、メモリーカードリーダーの動作ランプが点滅ではなく点灯または消灯していることを確認してから、メディアを取り出します。

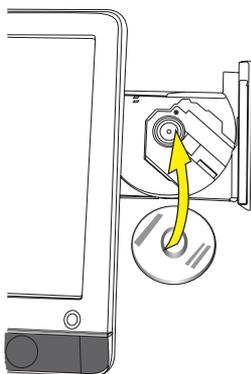


注意：動作ランプの点滅時にメディアを取り出さないでください。これを行うと、データが失われる可能性があります。

縦向きの CD/DVD ドライブの使用

お使いのコンピューターには、オプティカルドライブが縦向きに取り付けられています。ドライブのドアのすぐ下に取り出しボタンがあります。ドライブには標準サイズのディスクおよび8 cm ディスクを挿入できます。

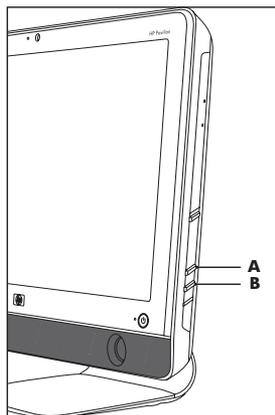
- 1 コンピューターの正面に移動します。
- 2 取り出しボタンを押して CD/DVD トレイを開きます。
- 3 ラベル面を外側にしてトレイの中央に置きます。
- 4 トレイの裏側を支えながら、カチッという音がするまでディスクを中心部に押し込み、トレイの先端を押して閉じます。



画面の明るさの調整

お使いのコンピューターの側面に、画面の明るさを調節するためのボタンが2つあります。

- 1 上のボタン (A) を押すと画面が明るくなります。
- 2 下のボタン (B) を押すと画面が暗くなります。



画面の解像度を調整するには、[スタート] ボタン→[コントロール パネル]→[画面]→[設定] タブの順にクリックします。調整バーを左右に動かして解像度を調整し、[OK] をクリックします。

ソフトウェアの使用

注：以下の表に示すソフトウェアの一部は、モデルによっては付属していない場合があります。これは、コンピューターに入っているすべてのソフトウェアの一覧ではありません。

お使いのコンピューターに含まれているソフトウェアで、以下のことを行えます。

- CDを作成および再生する。
- データCDを作成する。
- 動画ファイルをインポートおよび編集する。
- ビデオCDおよびDVDを作成する。
- デジタルメディアファイルを整理する。

以下の表で、各プログラムに固有の機能を説明します。この表を使用して、行う作業に適したプログラムを判断します。

プログラム	機能
MediaSmart 	<ul style="list-style-type: none">■ MediaSmart DVD モードで、DVD またはビデオ CD の動画を再生する■ 音楽コレクションの再生、プレイリストの作成、およびハードドライブの音楽コレクションの整理を行う■ JPG 形式の画像を表示、編集、印刷する。スライドショーを作成する。写真を Snapfish にアップロードして印刷および共有する■ インターネットテレビを視聴する。テレビ番組を録画して再生する■ コンピューターの動画ファイルを再生し、YouTube にアップロードする 注：YouTube Web サイトは一部の国や地域では利用できない場合があります。YouTube を使用するにはインターネットへの接続とアカウントのセットアップが必要です■ 音楽と動画の再生リストを作成および更新する

プログラム

機能（続き）

CyberLink DVD Suite



- データおよび音楽ファイルを記録する
- 既存の音楽 CD またはデータ CD のコピーを作成して、コンピューターで使用する
- お手持ちの CD や .wav、.mp3、または .wma ファイルから、オリジナルの音楽 CD を作成する。作成した CD はお手持ちのホームステレオやカーステレオで再生できます
- データファイルをコピーおよび共有する
- コンピューター上のファイルからバックアップ用のCDやDVDを作成する
- ディスク作成の際のエラーチェックを行う
- 動画ファイルをVCDやDVDに記録する（一部のDVDプレーヤーで再生可能）
- 動画ファイルをコピーおよび共有する
- 動画ファイルを取り込む
- 動画ファイルを編集する
- CyberLink LabelPrint を使用してディスクのラベル（LightScribeラベル）を作成する

HP Advisor

（一部モデルのみ）

- コンピューターの機能を検索する
- コンピューターの状態を確認し、更新プログラムを入手する
- 診断機能およびヘルプにアクセスする

詳細情報の参照

[Windows ヘルプとサポート] の使用

お使いのコンピューターに関する情報は、[Windows ヘルプとサポート] で参照できます。ここで、最新のドライバーへのリンクや、サポート窓口のアクセス、一般的な質問に関する情報の検索が可能です。

[Windows ヘルプとサポート] を開くには、以下の手順で操作します。

- キーボードのヘルプボタンを押します（一部のモデルのみ）。
- または
- [スタート] ボタン→[ヘルプとサポート] の順にクリックします。

サポート Web サイトへのアクセス

お使いのコンピューターに関する情報をインターネットで検索するには、以下の手順で操作します。

- 1 Web ブラウザーで <http://www.hp.com/support/> に移動します。
- 2 お住まいの国または地域、および言語を選択します。
- 3 [サポート & 問題解決情報を表示する] にチェックを入れます。
- 4 お使いのコンピューターの製品名または製品番号を入力して、[検索開始]  をクリックします。表示する項目をクリックします。

Web での製品マニュアルの検索

インターネットを使用してサポート Web サイトにアクセスし、お使いのコンピューターの製品マニュアルを検索できます。

- 1 前の作業の手順に沿って、サポート Web サイト <http://www.hp.com/support/> に移動し、製品名または製品番号を検索します。
- 2 [製品マニュアル] をクリックします。

[PC ヘルプとツール] フォルダの使用

[PC ヘルプとツール] フォルダには、サポート情報やプログラムなど、コンピューターの使用に役立つものが含まれています。

[PC ヘルプとツール] フォルダを参照するには、以下の手順で操作します。

- 1 [スタート] ボタン→[すべてのプログラム]→[PCヘルプとツール] の順にクリックします。
- 2 [ハードウェア診断ツール] をクリックしてツールを参照または使用します。

HP Advisor ソフトウェアの使用

(一部モデルのみ)

※モデルにより内容が異なる場合がございます。

HP Advisor は、コンピューターの主要な部分の診断情報を監視およびアクセスするデスクトップツールです。HP Advisor には主に以下の機能等があります。

- **PC Alerts** : HP からのソフトウェアアップデート、サポートアラートなどのメッセージを表示します。
- **PC Dashboard** : コンピューターの状態を一目で確認できます。インターネット接続、プリンター接続等、コンピューターの実行に必要な項目にアクセスします。
- **PC Discovery** : コンピューターにインストールされているソフトウェアやオンラインサービスにアクセスし、新しいソフトウェアやサービスの情報を入手します。

HP Advisor のドックを開くには、タスクバーの **[HP]** ログをクリックします。

安全で快適なコンピューターの利用

コンピューターを使い始める前に、作業を快適に効率よく行えるようにコンピューターおよび作業環境を整えてください。重要な人間工学的情報については、『快適に使用していただくために』を参照してください。

- **[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[ユーザ ガイド]→[快適に使用していただくために]** の順に選択します。

または

- Web ブラウザーのアドレスボックスに、
http://www.hp.com/ergo/
と入力し、キーボードの [Enter] キーを押して、表示される画面で **[日本語]** を選択します。

コンピューターのアップグレード

以下の手順で『アップグレード ガイド』を参照してください。

- **[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[ユーザ ガイド]→[アップグレード ガイド]** の順に選択します。
- 見つからない場合は、21 ページの「Web での製品マニュアルの検索」の手順で操作し、**[アップグレード ガイド]** を選択します。

トラブルシューティングおよびメンテナンス

このセクションの内容は以下のとおりです。

- **トラブルシューティングの一覧**：23 ページの「コンピューターに関するトラブルの解決方法」
- **ソフトウェアの修復に関する情報**：37 ページの「ソフトウェアのトラブルシューティング」
- **メンテナンスに関する情報およびガイドライン**：40 ページの「メンテナンス」

詳しくは、21 ページの「詳細情報の参照」に従って [Windows ヘルプとサポート] を参照するか、またはサポート Web サイトにアクセスしてください。

プリンターなどの周辺機器に固有の問題については、製品の製造販売元が提供する説明書を参照してください。

コンピューターに関するトラブルの解決方法

以下の一覧に、コンピューターの設置、起動、または使用時に発生する可能性があるトラブルを示します。各一覧には、ユーザーが試すことができる解決方法も記載されています。

トラブルシューティングの一覧は、以下の順に記載されています。

- 24 ページの「コンピューターが起動しない」
- 25 ページの「電源」
- 25 ページの「ディスプレイ (モニター)」
- 26 ページの「キーボードおよびマウス (有線)」
- 27 ページの「無線キーボードおよびマウス」
- 29 ページの「オーディオおよびスピーカー」
- 30 ページの「インターネットアクセス」
- 31 ページの「CD および DVD プレーヤー」
- 34 ページの「ハードウェアの取り付け」
- 36 ページの「パフォーマンス」
- 36 ページの「メモ리카ードリーダー」

コンピューターが起動しない

トラブル	解決方法
コンピューターの電源が入らない、または起動しない	<p>コンピューターを外部電源に接続しているケーブルが、正しく差し込まれていることを確認します</p> <p>コンピューターを外部電源に接続しているケーブルが正しく差し込まれていて、電源コンセントが機能している場合、コンピューター背面にある電源装置のランプが緑色に点灯します。ランプが点灯しない場合は、『サポートガイド』を参照してサポート窓口にお問い合わせください</p> <hr/> <p>電源コンセントに別の電気装置を接続して、コンセントが正しく機能しているかテストします</p> <hr/>
コンピューターがロックされ応答していないように見える	<p>Windows の [タスク マネージャー] で応答していないすべてのプログラムを閉じるか、またはコンピューターを再起動します</p> <ol style="list-style-type: none">1 キーボードの、[Ctrl]、[Alt]、および [Delete] キーを同時に押します2 [タスク マネージャーの起動] をクリックします3 応答していないプログラムを選択して [タスクの終了] をクリックします <p>プログラムを終了しても解決しない場合は、以下の手順でコンピューターを再起動します</p> <ol style="list-style-type: none">1 キーボードの、[Ctrl]、[Alt]、および [Delete] キーを同時に押します2 赤い [シャットダウン] ボタンの隣の矢印→ [再起動] の順にクリックします <p>または</p> <ol style="list-style-type: none">1 電源ボタンを 5 秒以上押したままにして、コンピューターの電源を切ります2 電源ボタンを押してコンピューターを起動します <hr/>
ハードドライブのエラーメッセージが表示される	『サポートガイド』を参照してサポート窓口にお問い合わせください

電源

トラブル	解決方法
無効なシステムディスク、非システムディスク、またはディスクエラーに関するメッセージが表示される	オプティカルドライブの動作が停止したら、ディスクを取り出し、キーボードのスペースキーを押します。これで、コンピューターが起動します
電源ボタンを押してもコンピューターの電源が切れない	コンピューターの電源が切れるまで、電源ボタンを押したままにします 電源設定を確認します
コンピューターが自動的にシャットダウンする	コンピューターが過熱している可能性があります。室温と同じくらいになるまでコンピューターを冷却します コンピューターの通気が遮られておらず、内部ファンが動作していることを確認します。コンピューターによっては、内部ファンがない場合もあります 42 ページの「コンピューターの通気孔のクリーニング」を参照してください

ディスプレイ（モニター）

トラブル	解決方法
画面に何も表示されず、電源ランプが点灯しない	コンピューターの背面にある電源プラグと電源コンセントを接続しなおします コンピューターの前面にある電源ボタンを押します
画面に何も表示されない	キーボードのスペースキーを押すか、マウスを動かして、画面が再度表示されるようにします スリープボタン（一部のモデルのみ）またはキーボードの [Esc] キーを押して、ハイバネーションモードから復帰します 電源ボタンを押し、コンピューターの電源を入れます
画像が大きすぎるか小さすぎる、またはぼやけている	Windows 7 の画面解像度を調整します <ol style="list-style-type: none">1 [スタート] ボタン → [コントロール パネル] の順にクリックします2 [デスクトップのカスタマイズ] の下の [画面の解像度の調整] をクリックします3 解像度を調整して [適用] をクリックします

キーボードおよびマウス（有線）

トラブル	解決方法
キーボードのコマンドおよび入力操作がコンピューターに認識されない	マウスを使用してコンピューターの電源を切り、キーボードのケーブルをコンピューターの背面から抜き、接続しなおしてから、コンピューターの電源を入れます
有線マウスが動作しない、または検出されない	マウスケーブルをコンピューターから抜き、接続しなおします それでもマウスが検出されない場合は、コンピューターの電源を切り、マウスケーブルを抜き、接続しなおしてから、コンピューターを起動しなおします
カーソルがマウスの動きに反応しない	キーボードを使用してコンピューターを再起動します <ol style="list-style-type: none">1 キーボードの [Alt] および [Tab] キーを同時に押し、開いているプログラムに移動します2 キーボードの [Ctrl] および [S] キーを同時に押し、表示されているプログラムで行った変更を保存します（ほとんど（すべてではありません）のプログラムで、[Ctrl] + [S] は、保存を行うためのキーボードショートカットです）3 開いているすべてのプログラムで、手順 1 ~ 2 を繰り返して変更を保存します4 開いているすべてのプログラムで変更を保存したら、キーボードの [Ctrl] および [Esc] キーを同時に押し、Windows の [スタート] メニューを表示します5 矢印キーを使用して [シャットダウン] を選択してキーボードの [Enter] キーを押します6 シャットダウンが完了したら、マウスコネクタをコンピューターの背面から抜き、接続しなおしてから、コンピューターの電源を入れます
カーソルの反応が遅い、垂直方向または水平方向にしか移動しない、または滑らかに移動しない	<ul style="list-style-type: none">■ オプティカルマウスをクリーニングします。マウス底面の光センサーのレンズを、毛羽立たない柔らかい布で軽く拭きます（紙は使わないでください）■ マウスパッド、白い紙、または反射の少ない面の上でマウスを使用します
テンキーの矢印キーを使用してカーソルを移動できない	キーボードの [Num Lock] キーを押して Num Lock ランプを消灯させます。テンキーの矢印キーを使用する場合は、Num Lock ランプが消えている状態にします

無線キーボードおよびマウス

トラブル

解決方法

無線キーボードやマウスが動作しない、または検出されない

A 以下のことを確認します

- 無線キーボードまたは無線マウスをレシーバーの受信範囲内で使用していることを確認します。受信範囲は、通常の使用時は約 10 m、初回セットアップ時または再同期時は 30 cm 以内です
- マウスのランプを見て、電池の残量を確認します。マウスの電源を入れると、以下のようになります
 - ランプが緑色の場合、電池の残量は十分にあります
 - 電池の残量が少ない場合、ランプがオレンジ色で10回点滅します
 - 電池の残量が2.0 V未満の場合、ランプが点灯しません。電池を交換してください
- キーボードおよびマウスの電池を交換します。充電式電池は使用しないでください。デバイスを裏返し、マウスの電源をオフしてから、バッテリーカバーを取り外して古い電池を取り出し、新しいアルカリ電池を挿入します。マウスの電源を入れて Connect ボタンを押します
- マウスがサスペンドモードに入っていないことを確認します。サスペンドモードは、20 分間操作が行われないと実行されます。マウスを再度有効にするには、マウスの左ボタンをクリックします

B キーボードおよびマウスとレシーバーとを再同期します

以下の図に示されているレシーバー、無線キーボード、および無線マウスは一例であり、お使いのモデルによって異なる場合があります

重要: 以下の手順では、無線キーボードおよび無線マウスは、レシーバーと同じ高さで、レシーバーから 30 cm 以内で、他のデバイスから干渉を受けない位置に配置します

- 1 コンピューターの USB コネクタからレシーバーを抜き取り、差し込みなおします
レシーバーにはランプ (A) が付いている場合があります



無線キーボードおよびマウス（続き）

トラブル

解決方法

無線キーボードやマウスが動作しない、または検出されない（続き）

- マウスの底面で、電源スイッチ（**B**）が On になっていることを確認し、Connect ボタン（**C**）を、レシーバーのランプ（**A**）が点灯するまで、または点滅しなくなるまで、5 ～ 10 秒程度押したままにします



注：レシーバーの接続セッションは60秒でタイムアウトします。接続が確立されており、レシーバーがタイムアウトしていないことを確認するには、マウスを動かして画面上での反応を見ます

- マウスの接続が確立された後、キーボードの接続も確立する場合は、以下の手順に進みます
- キーボードの裏面の Connect ボタン（**D**）を 5 ～ 10 秒程度押したままにします



オーディオおよびスピーカー

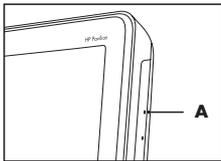
トラブル	解決方法
音が出ない	<p>キーボードのミュートボタンを押して、ミュート（消音）機能が有効になっているかどうかを確認します</p> <p>または</p> <ol style="list-style-type: none">1 タスクバーの【音量】アイコンを右クリックして、【音量ミキサーを開く】をクリックします 【音量ミキサー】の設定ウィンドウが開きます2 プログラムが消音されている場合は、【ミュート】ボタンをクリックして音量を元に戻します <hr/> <p>音量を上げるには、タスクバーの【音量】アイコンをクリックするか、またはキーボードのボタン類を使用します。ソフトウェアプログラムで音量設定を確認します</p> <hr/> <p>外付けスピーカーを使用している場合は、電源付き（アクティブ）スピーカーが接続されていて、その電源がオンになっていることを確認します</p> <hr/> <p>コンピューターの電源を切り、外付けスピーカーのケーブルを抜いて、接続しなおします。外付けスピーカーがライン出力コネクタに接続されていることを確認します</p> <hr/> <p>スリープモードから復帰させるには、スリープボタン（一部のモデルのみ）を押すか、またはキーボードの [Esc] キーを押します</p> <hr/> <p>ヘッドフォンがコンピューターに接続されている場合は、取り外します</p>



インターネットアクセス

トラブル	解決方法
インターネットに接続できない	<p>ご利用の ISP にお問い合わせください</p> <hr/> <p>ご利用のインターネット接続の種類に適したケーブルを使用していることを確認します</p> <hr/> <p>無線セットアップウィザードを実行します</p> <ol style="list-style-type: none">1 [スタート] ボタン→[コントロール パネル]の順にクリックします2 [ネットワークとインターネット]→[ネットワークと共有センター]の順にクリックします3 [ネットワークと共有センター] ウィンドウで、[新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリックしてウィザードを開きます4 画面の説明に沿って操作します <hr/> <p>[デバイス マネージャー] を使用して、内蔵無線 LAN デバイスがコンピューターに正しく装備されていることを確認します</p> <ol style="list-style-type: none">1 [スタート] ボタンをクリックします2 [プログラムとファイルの検索] ボックスに「デバイス マネージャー」と入力して [デバイス マネージャー] をクリックします3 [ネットワーク アダプター] をダブルクリックします。お使いの無線 LAN デバイスが一覧に表示されます。無線 LAN デバイスの名前には wireless、wireless LAN、802.11 などの用語が含まれている可能性があります4 [スタート] ボタンをクリックします5 [プログラムとファイルの検索] ボックスに「ネットワークと共有センター」と入力し、[ネットワークと共有センター] をクリックして [ネットワークと共有センター] ウィンドウを開きます6 [ネットワークに接続] をクリックし、画面の説明に沿って操作します

CD および DVD プレーヤー

トラブル	解決方法
CD ドライブまたは DVD ドライブがディスクを読み込まない、または起動に時間がかかる	<p>ディスクが、ラベルの面を外側にしてトレイの中心に置かれていることを確認します</p> <p>ドライブがメディアの種類を判断するまで、少なくとも 30 秒待ちます</p> <p>ディスククリーニングキットを使用してディスクをクリーニングします。このキットは、一般のコンピューター製品販売店で入手できます</p> <p>ドライバーが破損しているか、古くなっている可能性があります。ドライバーの復元または更新について詳しくは、37 ページの「ドライバーの更新」を参照してください</p>
CD または DVD を取り出せない	<p>コンピューターの電源を入れ、ドライブの近くにある取り出しボタンを押して、トレイを開きます</p> <p>取り出しボタンそのものに問題がある可能性がある場合は、以下の手順で操作します</p> <ol style="list-style-type: none">1 [スタート]ボタン→[コンピューター]の順にクリックします2 開きたい CD ドライブまたは DVD ドライブを右クリックします3 メニューから [取り出し] を選択します4 ディスクが詰まっている場合は、コンピューター側面にある緊急取り出しホール (A) にピンを差し込み、詰まりを解除します 
家庭用の DVD プレーヤーで DVD の動画を再生できない	<p>データファイルとして DVD に書き込まれたビデオファイルは、DVD プレーヤーでは再生できません。映像を適切に再生できるようにするには、ビデオ書き込みプログラムを使用します。ビデオファイルによっては、コンピューターで再生できても、家庭用の DVD ビデオプレーヤーでは再生できない場合があります</p>

CD および DVD プレーヤー（続き）

トラブル	解決方法
ディスクを作成（記録）できない	<p>ディスクが、ラベルの面を外側にしてトレイの中心に置かれていることを確認します</p> <hr/> <p>ドライブに対応した種類のディスク（メディア）を使用していることを確認します。別の製造販売元のディスクを試してみます</p> <hr/> <p>清潔で、破損していないディスクを使用します。書き込みセッション中に書き込みが停止した場合、ディスクが破損している可能性があります。別のディスクを使用してください</p> <hr/> <p>書き込むファイルの種類に対応しているディスクを使用します</p> <hr/> <p>CD-R ディスクを使用する時は、音楽を書き込む場合はディスクが空であること、またデータを書き込む場合は、ディスクが空または付加可能（データファイルを追加する領域がある）であることを確認します</p> <hr/> <p>ディスクのコピーを作成する場合は、適切な種類のディスクを使用していることを確認します。書き込みプログラムによっては、ソースと同じ種類のディスクにしき書き込めない場合があります。たとえば、DVD を書き込めるのは DVD+R/-R ディスクまたは DVD+RW/-RW ディスクのみ、CD を書き込めるのは CD-R ディスクまたは CD-RW ディスクのみです</p> <hr/> <p>可能な場合は、書き込みを実行するドライブの書き込み速度を低く設定します</p> <hr/> <p>トラックのサイズがディスクの使用可能領域より大きい場合、書き込みソフトウェアを使用してトラックを追加できない場合があります。ファイルをディスクに書き込む前に、リストから 1 つまたは複数のトラックを削除して、領域を確保することができます</p> <hr/> <p>書き込みを開始する前に、すべてのソフトウェアプログラムおよびウィンドウを閉じます</p> <hr/> <p>ハードドライブ上に、コンテンツの一時コピーを格納するための十分な領域があることを確認します</p> <p>【スタート】 ボタン → 【コンピューター】 の順にクリックします。ハードドライブを右クリックし、【プロパティ】 を選択して使用可能な領域を表示します</p> <hr/> <p>ネットワーク上で作業している場合は、まずネットワークからハードドライブにファイルをコピーして、その後でディスクに書き込みます</p> <hr/> <p>すべてのプログラムおよびウィンドウを閉じ、コンピューターを再起動します</p>

ビデオ

トラブル	解決方法
再生されないビデオファイルがある	ファイルが破損しているか、形式がサポートされていない可能性があります。ファイルをビデオエディターで開いてから、サポートされている形式でファイルを保存しなおします
特定のビデオファイルを再生しようとする、コーデックに関するエラーメッセージが表示される	Windows Media Player でファイルを開きます。Windows Media Player がコーデックを自動的にダウンロードするように設定されていることを確認します <ul style="list-style-type: none">■ 適切なコーデックを入手できる場合は、ファイルが再生されます。コーデックファイルをダウンロードするには、インターネットに接続している必要があります■ 適切なコーデックを入手できない場合は、Windows Media Player の更新が利用可能かどうかを確認します 詳しくは、Windows Media Player のヘルプを開き、「コーデック」を検索してください
[ビデオの再生に必要なファイルが見つからないか、壊れています] というエラーメッセージが表示される	<ol style="list-style-type: none">1 【スタート】ボタンをクリックします2 [プログラムとファイルの検索]ボックスに「デバイス マネージャー」と入力して【デバイス マネージャー】をクリックし、[デバイス マネージャー]ウィンドウを開きます3 【サウンド、ビデオ、およびゲーム コントローラー】をダブルクリックします4 TV チューナーの項目（一部のモデルのみ）を右クリックし、【ドライバー ソフトウェアの更新】をクリックします5 【自動的に更新されたドライバー ソフトウェアを検索します】を選択します6 説明に沿って操作して、ドライバーを更新します7 要求された場合は、コンピューターを再起動します

ハードウェアの取り付け

トラブル	解決方法
新しいデバイスが、システムの一部として認識されない	<p>デバイスに付属のデバイスドライバーをインストールするか、デバイスの製造販売元のWebサイトからドライバーをダウンロードおよびインストールします</p> <p>Windows用に更新されたドライバーが必要な場合があります。更新についてはデバイスの製造販売元に直接お問い合わせください</p> <p>HPの周辺機器については、HPのWebサイト http://www.hp.com/support/ をご覧ください</p> <hr/> <p>すべてのケーブルがしっかりと適切に接続されており、ケーブルのピンが曲がっていないことを確認します</p> <hr/> <p>コンピューターの電源を切り、外付けデバイスの電源を入れてからコンピューターの電源を入れることで、デバイスをコンピューターに認識させます</p> <hr/> <p>オペレーティングシステムで新しいデバイスの自動設定を無効にし、リソースの競合を引き起こさない基本的な構成を選択します</p> <p>デバイスを再構成するか、または無効にしてリソースの競合を解決することもできます。詳しくは 35 ページを参照してください</p>
新しいデバイスが動作しない	<p>デバイスドライバーをインストールまたはアンインストールするには、管理者権限のあるアカウントでログインする必要があります。ユーザーを切り替える必要がある場合は、【スタート】ボタン→【シャットダウン】ボタンの隣の矢印ボタン→【ユーザーの切り替え】の順にクリックします。管理者権限を持つユーザーを選択します</p>

ハードウェアの取り付け（続き）

トラブル

解決方法

新しいデバイスを取り付けたら、デバイスが動作しなくなった

デバイスの競合を解消するには、デバイスのどれかを無効にするか、または古いデバイスドライバーをアンインストールする必要があります

- 1 **【スタート】** ボタンをクリックします
- 2 **【プログラムとファイルの検索】** ボックスに「デバイス マネージャー」と入力して **【デバイス マネージャー】** をクリックし、**【デバイス マネージャー】** ウィンドウを開きます
- 3 トラブルが発生しているデバイスをダブルクリックし、デバイスのアイコンの近くに黄色い円で囲まれた感嘆符があるかどうかを確認します。感嘆符は、デバイスの競合が発生しているか、またはデバイスで問題が発生していることを示します。感嘆符は、デバイスが正常に動作していない時でも、表示されない場合があります
- 4 ハードウェアデバイスを取り外してあるのに、そのデバイスドライバーが **【デバイス マネージャー】** に表示されている場合、これがデバイスの競合の原因となっている可能性があります。古いドライバーをアンインストールして、新しいデバイスドライバーを正常に動作させるには、デバイスを右クリックして **【アンインストール】** → **【OK】** の順にクリックします
- 5 デバイスの名前を右クリックして **【プロパティ】** を選択します
- 6 **【全般】** タブをクリックし、デバイスが有効で正常に動作しているかどうかを確認します。 **【トラブルシューティング】** ボタンが表示されている場合はクリックし、**[device troubleshooter wizard]**（デバイスのトラブルシューティングウィザード）で画面の説明に沿って操作します
- 7 コンピューターを再起動します。 **【スタート】** ボタン → **【シャットダウン】** ボタンの隣の矢印ボタン → **【再起動】** の順にクリックします

パフォーマンス

トラブル	解決方法
コンピューターに表示されるプロセッサ速度が低い	実行中のアプリケーションが最高の処理能力を必要としていないため、プロセッサが自動的に低い速度で実行される場合に発生します 購入したプロセッサがコンピューターに搭載されているか確認します。 【スタート】 ボタンをクリックして 【コンピューター】 を右クリックし、 【プロパティ】 をクリックして、 【全般】 タブで搭載されているプロセッサを確認します
ソフトウェアプログラムおよびファイルの起動や反応に予想以上の時間がかかる	コンピューターに複数のユーザーアカウントを作成してある場合は、他のユーザーがログインしていないことを確認します。一度に複数のユーザーがログインしている場合、システムのリソースがユーザー間で共有されます その他の作業については、40 ページの「メンテナンス作業」を参照してください

メモリーカードリーダー

トラブル	解決方法
メモリーカードリーダーが、メモリーカードを読み込めない	メモリーカードリーダー動作ランプが点滅している時は、メモリーカードの挿入または取り出しは行わないでください。これを行うと、データが消失したり、カードリーダーが損傷して修復できなくなったりする場合があります メモリーカードによっては、読み取り / 書き込みスイッチまたはセキュリティスイッチが付いています。データをカードに書き込む前に、カードのスイッチが書き込み可能に設定されていることを確認します 保管されたデータ量が、メモリーカードの記憶可能領域を超えていないことを確認します メモリーカードがサポートされている種類（メモリースティック (MS)、メモリースティック Pro (MS Pro)、マルチメディアカード (MMC)、マルチメディアカード plus (MMC+)、Secure Digital (SD)、Secure Digital High-Capacity (SDHC)、xD ピクチャカード）であることを確認します アダプターを使用すると、以下のメディアカードもサポートされます：Mini Secure Digital (Mini SD)、Micro Secure Digital (Micro SD)、Reduced-sized MultiMediaCard (RS-MMC)、メモリースティック (MS Duo)、メモリースティック Pro Duo (MS Pro Duo)

メモリーカードリーダー（続き）

トラブル	解決方法
メモリーカードリーダーが、メモリーカードを読み込めない（続き）	メモリーカードがスロットに完全に挿入されており、ランプが点灯していることを確認します <hr/> メモリーカードの接続部分に、穴や金属端子を塞いでいる汚れやごみがないかどうかをチェックします。軽く湿らせた、毛羽立たない柔らかい布で端子をクリーニングします。必要に応じて、メモリーカードを交換します

ソフトウェアのトラブルシューティング

お使いのコンピューターでは、通常の動作中、オペレーティングシステムおよびインストールされたソフトウェアプログラムが使用されます。ソフトウェアが原因でコンピューターが正常に動作しない、または停止する場合、その問題を修復できることがあります。

ソフトウェアの修復には、コンピューターの再起動だけで済む簡単なものもあれば、ハードドライブ上のファイルからシステムの復元を実行する必要があるものもあります。

ソフトウェアの修復の概要

ソフトウェアの問題を解決する最も効率的な方法は、コンピューターを再起動するか、コンピューターの電源を完全に切ってから電源を入れなおすことです。これで解決しない場合は、以下の方法でソフトウェアのトラブルからコンピューターを修復します。

- ドライバーの更新（次のセクション「ドライバーの更新」を参照）
- Microsoft の [システムの復元] (38 ページの「Microsoft の [システムの復元]」を参照) : コンピューターをソフトウェアの問題が発生する以前に使用していた構成に復元します。
- ソフトウェアプログラムおよびハードウェアドライバーの再インストール (39 ページの「ソフトウェアプログラムおよびハードウェアドライバーの再インストール」を参照) : 工場出荷時にインストールされたソフトウェアプログラムまたはハードウェアドライバーを、[リカバリ マネージャ] プログラムを使用して再インストールします。
- システムリカバリ (42 ページの「システムリカバリ」を参照) : ハードドライブの内容（作成したデータファイルを含む）を消去して再フォーマットし、オペレーティングシステム、プログラム、およびドライバーを再インストールします。

ドライバーの更新

ドライバーはプリンター、ハードドライブ、マウス、キーボードなどの接続されたデバイスとコンピューターのやり取りを可能にするソフトウェアプログラムです。

ドライバーを更新するには、また、新しいドライバーで問題が解決されない場合にドライバーの以前のバージョンに戻すには、以下の手順で操作します。

- 1 [スタート] ボタンをクリックします。
- 2 [プログラムとファイルの検索] ボックスに「デバイス マネージャー」と入力して [デバイス マネージャー] をクリックし、[デバイス マネージャー] ウィンドウを開きます。
- 3 ダブルクリックして、更新または元に戻すデバイスを展開します（たとえば、DVD/CD-ROM ドライブなど）。
- 4 目的の項目をダブルクリックします（たとえば、**HP DVD Writer 640b** など）。
- 5 [ドライバー] タブをクリックします。

- 6 ドライバーを更新する場合は、[ドライバーの更新]をクリックし、画面の説明に沿って操作します。
または
ドライバーを以前のバージョンに戻す場合は、[ドライバーを元に戻す]をクリックし、画面の説明に沿って操作します。

Microsoft の [システムの復元]

Windows 7 には、コンピューターの構成を、現在のソフトウェアの問題が発生する以前に使用していた構成に復元できる機能が含まれています。この機能は、その時点のコンピューターの設定を記録する「復元ポイント」を作成することで、実行されます。

新しいプログラムがインストールされる時、インストール処理の前に、オペレーティングシステムにより自動的に復元ポイントが作成されます。復元ポイントは手動で設定することもできます。

コンピューター上のソフトウェアが原因と考えられるトラブルが発生した場合は、[システムの復元]を使用して、コンピューターを以前の復元ポイントに戻します。

注：システムリカバリプログラムを使用する前に、必ずシステムの復元を実行してください。

システムの復元を行うには、以下の手順で操作します。

- 1 開いているすべてのプログラムを閉じます。
- 2 [スタート] ボタンをクリックして [コンピューター] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- 3 [システムの保護] → [システムの復元] の順にクリックします。[ユーザー アカウント制御] が表示されます。[続行] をクリックします。[次へ] をクリックします。
- 4 画面の説明に沿って操作します。

手動で復元ポイントを追加するには、以下の手順で操作します。

- 1 開いているすべてのプログラムを閉じます。
- 2 [スタート] ボタンをクリックして [コンピューター] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- 3 [システムの保護] をクリックします。[ユーザー アカウント制御] が表示されます。[続行] をクリックします。
- 4 [保護設定] で、復元ポイントを作成するディスクを選択します。
- 5 [作成] をクリックします。
- 6 画面の説明に沿って操作します。

ソフトウェアの復元ポイントについて詳しく調べるには、以下の手順で操作します。

- 1 [スタート] ボタン → [ヘルプとサポート] の順にクリックします。
- 2 ヘルプの検索ボックスに「システムの復元」と入力し、[Enter] キーを押します。

ソフトウェアプログラムおよびハードウェアドライバーの再インストール

工場出荷時にインストールされたソフトウェアプログラムまたはハードウェアドライバーが破損した場合は、[リカバリ マネージャ]プログラムを使用してそれらを再インストールできます(一部のモデルのみ)。

注：コンピューターに同梱されている CD または DVD からインストールしたソフトウェアプログラムを再インストールする場合に、[リカバリ マネージャ]プログラムを使用しないでください。これらのプログラムは CD または DVD から直接再インストールしてください。

プログラムをアンインストールする前に、再インストールが可能であることを確認してください。もともとインストールした場所（ディスクやインターネットなど）で現在も利用できることを確認します。または、対象のプログラムが、[リカバリ マネージャ]から再インストールできるプログラムの一覧に含まれていることを確認します。

[リカバリ マネージャ]でインストール可能なプログラムの一覧を確認するには、以下の手順で操作します。

- 1 [スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[リカバリ マネージャ]→[リカバリ マネージャ]の順にクリックします。[ユーザー アカウント制御]が表示されます。[続行]をクリックします。
- 2 [ソフトウェア プログラムの再インストール]をクリックします。
- 3 [ソフトウェア プログラムの再インストーラへようこそ]画面で[次へ]をクリックします。プログラムの一覧が表示されます。該当するプログラムがあるか確認します。

プログラムをアンインストールするには、以下の手順で操作します。

- 1 すべてのソフトウェアプログラムおよびフォルダーを閉じます。
- 2 破損したプログラムをアンインストールします。
 - a [スタート]ボタン→[コントロール パネル]の順にクリックします。
 - b [プログラム]で[プログラムのアンインストール]をクリックします。
 - c 削除するプログラムを選択し、[アンインストール]をクリックします。
 - d アンインストールの手順を続行する場合は[はい]をクリックします。

[リカバリ マネージャ]を使用してプログラムを再インストールするには、以下の手順で操作します。

- 1 [スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[リカバリ マネージャ]→[リカバリ マネージャ]の順にクリックします。[ユーザー アカウント制御]が表示されます。[続行]をクリックします。
- 2 [ソフトウェア プログラムの再インストール]をクリックします。
- 3 [ソフトウェア プログラムの再インストーラへようこそ]画面で[次へ]をクリックします。
- 4 インストールするプログラムを選択して[次へ]をクリックし、画面の説明に沿って操作します。
- 5 再インストールが完了したら、コンピューターを再起動します。

注：最後の手順を省略しないでください。ソフトウェアプログラムまたはハードウェアドライバーのリカバリが完了したら、コンピューターを再起動する必要があります。

メンテナンス

このセクションで説明する作業を行うことで、お使いのコンピューターのトラブルを防止できます。また、将来トラブルが発生した場合に、重要な情報を簡単に復元できます。

メンテナンス作業

単純なメンテナンスを実行し、コンピューターが最高のパフォーマンスで動作するようにすることが重要です。

毎週

ソフトウェアのクリーンアップ [ディスク クリーンアップ]、または他社製の安全なクリーニングツールを使用して、システムの動作を低下させる原因となる、蓄積された不要なファイルや一時ファイルを削除します。また、不要になったプログラムを確認して、それらをアンインストールします

デフラグ ディスクデフラグプログラムを実行して、ハードディスクを最適な状態に保ち、システムパフォーマンスを向上させます。この作業を頻繁に実行しても、システムに害を与えることはありません

ウィルススキャン 完全なウィルススキャンを毎週実行することにより、知らないうちに入り込む可能性があるウィルスをキャッチできます。ほとんどのウィルス対策製品には、これを自動的に追跡するスケジュール機能があります

毎月

ハードウェアのクリーンアップ コンピューターの内部および外部をすべてクリーニングします

ソフトウェアの更新 [Windows Update] を使用して、オペレーティングシステムのバグを修正し、パフォーマンスを向上させることができます。また、ハードウェアのドライバー更新プログラム、および使用しているプログラムの新しいバージョンの確認も行います

ハードディスクの診断 ハードディスクの障害を、被害が出る前に検出できる場合があります

毎年

システムリカバリ コンピューターの使用方法にもよりますが、システムは、いつかは故障する可能性があります。システムリカバリプログラムを使用して、インストールされていた Windows オペレーティングシステムをいったん完全に消去し、初めてシステムの電源を入れたときの元の構成に復元することができます。事前に必ずバックアップを作成します。リカバリを実行する前に、42 ページの「システムリカバリ」で詳しい説明を参照してください

データバックアップディスクの作成

お使いのコンピューターにインストールされている DVD 作成ソフトウェアを使用して、個人用ファイル、電子メールメッセージ、および Web サイトのお気に入りなどの重要な情報のバックアップディスクを作成できます。また、データを外部ハードドライブに移動することもできます。バックアップディスクへのデータの書き込みには、書き込み検証機能のあるソフトウェアを使用してください。この検証機能とは、ハードディスク上のデータとディスクにコピーされたデータを比較し、正確なコピーであるかどうかを確認するものです。ディスク作成ソフトウェアの種類によっては、この機能を手動で有効にする必要があります。

ディスクの作成で問題が発生した場合は、別の種類または別の製造販売元のメディアで試してみます。また、Windows エクスプローラーを使用してファイルを表示し、内容がコピーされていることの確認も行います。Windows エクスプローラーを開くには、[スタート] ボタンを右クリックし、[エクスプローラー] をクリックします。

システムリカバリディスクの作成

これは、お使いのコンピューターが正常に動作している時に 1 回だけ実行する必要がある作業です。将来、コンピューターにトラブルが発生した場合に、作成したシステムリカバリディスクを使用して工場出荷時の設定に復元できます。詳しくは、42 ページの「リカバリディスクの作成」を参照してください。

埃、汚れ、熱からのコンピューターの保護

お使いのコンピューターシステムを埃、汚れ、および熱から守ることで、より長く使用できます。埃、ペットの毛やその他のごみが積もることで、部品が過熱したり、キーボードやマウスの動きが滑らかでなく効率が悪くなったりします。埃やごみが付いていないかどうか、システムを 1 か月に 1 回確認し、3 か月に 1 回程度クリーニングしてください。

コンピューターのクリーニング

- 1 電源コンセントからコンピューターのプラグを抜き取ります。
- 2 乾いた清潔な布で、コンピューターの表面の埃を取り除きます。
- 3 温かい水で軽く湿らせた清潔な布で、コンピューターの表面の汚れを拭き取ります。モニター画面には水分を付けないでください。

注：コンピューターの表面にシールの粘着剤や液体が付いている場合は、毛羽立ちのない布にイソプロピルアルコールまたは消毒用アルコールを付けて拭き取ります。

- 4 乾いた清潔な布で、コンピューターの表面の水分を拭き取ります。
- 5 乾いた清潔な布でモニター画面をクリーニングします。よりしっかりとクリーニングする場合は、静電気防止効果のあるスクリーンクリーナーを清潔な布に付けて使用します。

コンピューターの通気孔のクリーニング

通気孔によりコンピューターが冷却されます。十分な通気を確保するため、電池式の小型掃除機で通気孔をクリーニングしてください。(電池式の掃除機を使用することで、感電を防止できます。)

- 1 コンピューター表面の通気孔に掃除機をかけます。
- 2 コンピューターのコネクタ (USB コネクタ、イーサネットコネクタなど) の内部および周囲に付着したごみを取り除きます。

キーボードおよびマウスのクリーニング

キーボードのキーをクリーニングする時は、キーや内部のバネが外れないようにするため、電池式の掃除機を「弱」の設定で使用してください。

- 1 キーボードのキーの隙間および縁に掃除機をかけます。
- 2 乾いた清潔な布にイソプロピルアルコールを付けて、キーボードのキーおよびその周囲をクリーニングします。
- 3 洗剤で軽く湿らせた布で、マウスの本体およびコードを拭きます。

システムリカバリ

システムリカバリでは、ハードドライブの内容を完全に消去し、フォーマットします。これにより、これまでに作成したすべてのデータファイルも削除されます。システムリカバリにより、オペレーティングシステム、プログラム、およびドライバが再インストールされます。ただし、工場出荷時にコンピューターにインストールされていないソフトウェアは、手動で再インストールする必要があります。これには、コンピューターに同梱されている CD からインストールしたソフトウェア、およびコンピューター購入後にインストールしたソフトウェアが含まれます。

システムリカバリの実行方法を以下から選択する必要があります。

- リカバリイメージ : ハードドライブに格納されているリカバリイメージからシステムリカバリを実行します。リカバリイメージは、工場出荷時のソフトウェアのコピーが含まれたファイルです。ハードドライブ上のリカバリイメージからシステムリカバリを実行するには、44 ページの「Windows 7 スタートメニューからのシステムリカバリの開始」を参照してください。

注: リカバリイメージは、ハードドライブの、データ保存に使用できない領域を使用します。

- リカバリディスク : ハードドライブに格納されているファイルから作成したリカバリディスクのセットから、システムリカバリを実行します。リカバリディスクを作成する方法については、以下の項目を参照してください。

リカバリディスクの作成

このセクションで説明する手順を実行して、ハードドライブに格納されているリカバリイメージから、リカバリディスクのセットを作成します。このイメージには、工場出荷時にコンピューターにインストールされていたオペレーティングシステムおよびソフトウェアプログラムのファイルが含まれています。

お使いのコンピューターで作成できるリカバリディスクは 1 セットのみです。また、作成したリカバリディスクは、お使いのコンピューターでのみ使用できます。

リカバリディスクの選択

リカバリディスクを作成するには、コンピューターに DVD 書き込みドライブが搭載されている必要があります。

- システムリカバリディスクの作成には、DVD+R または DVD-R の空のメディアを使用します。
- CD、DVD+RW、DVD-RW、DVD+RW DL、DVD-RW DL、DVD+R DL、または DVD-R DL ディスクは、リカバリディスクの作成に使用できません。

リカバリディスクセットを作成する場合は、高品質のディスクを使用してください。リカバリディスク作成プロセスでは、非常に高い基準での検証処理が行われます。「ディスク書き込み時の記録エラー」または「ディスクの検証中にエラーが検出されました」などのエラーメッセージが表示される場合があります。

ディスクに問題があるために、そのディスクを使用できない場合があります。新しいディスクを挿入して再度試すように要求するメッセージが表示されます。ディスクを使用できないことは異常ではありません。

リカバリディスクに使用されるディスクの数は、お使いのコンピューターのモデルによって異なります（通常は DVD 1～3 枚です）。リカバリディスク作成プログラムの画面上に、必要な空のディスクの数が示されます。

この作業は、ディスクに書き込まれた情報が正しいかどうかを確認するために、ある程度の時間がかかります。作業はいつでも中止できます。次にプログラムを実行する時は、中止した場所から再開されます。

システムリカバリディスクを作成するには

- 1 開いているすべてのプログラムを閉じます。
- 2 **[スタート]** ボタン→**[すべてのプログラム]**→**[リカバリ マネージャ]**→**[リカバリ ディスクの作成]**の順にクリックします。**[ユーザー アカウント制御]**が表示されます。**[続行]**をクリックします。
- 3 画面の説明に沿って操作します。作成したリカバリディスクにはラベル（リカバリ 1、リカバリ 2 など）を付けます。
- 4 安全な場所に保管してください。

システムリカバリのオプション

システムリカバリは以下の順序で実行する必要があります。

- 1 ハードドライブを使用して：Windows 7 のスタートメニューから
- 2 ハードドライブを使用して：システムの起動中にキーボードの [F11] キーを押す
- 3 作成したリカバリディスクから
- 4 HP のサポート窓口で購入したリカバリディスクからリカバリディスクを購入するには、<http://www.hp.com/support/> にアクセスし、お住まいの国または地域、および言語を選択します。ソフトウェアおよびドライバーのダウンロードページでお使いのコンピューターのモデルを検索します。

Windows 7 スタートメニューからのシステムリカバリの開始

コンピューターが機能しており、Windows 7 を使用できる場合は、以下の手順でシステムリカバリを実行します。

注：システムリカバリオプションにより、コンピューターの購入後に作成またはインストールしたすべてのデータまたはプログラムが削除されます。残しておきたいデータは、必ずリムーバブルディスクにバックアップしておいてください。

- 1 コンピューターの電源を切ります。
- 2 モニター、キーボード、およびマウス以外に接続されている周辺機器（USB 接続機器、プリンターなど）を、コンピューターからすべて取り外します。
- 3 コンピューターの電源を入れます。
- 4 **[スタート]** ボタン→**[すべてのプログラム]**→**[リカバリ マネージャ]**→**[リカバリ マネージャ]**の順にクリックします。**[ユーザー アカウント制御]**が表示されます。**[続行]**をクリックします。
- 5 **[システム リカバリ]**をクリックします。
- 6 **[はい]**→**[次へ]**の順にクリックします。
コンピューターが再起動します。

注：システムのリカバリパーティションが検出されなかった場合、リカバリディスクを導入するよう求められます。ディスクを挿入し、45 ページの「ユーザーが作成したリカバリディスクからのシステムリカバリの開始」の手順 7 に進みます。

- 7 **[システム リカバリ]**をクリックします。
- 8 ファイルをバックアップするよう求められ、まだバックアップを行っていない場合は、**[ファイルを最初にバックアップしてください]** ボタン→**[次へ]**の順にクリックします。それ以外の場合は、**[ファイルをバックアップせずに復元する]** ボタン→**[次へ]**の順にクリックします。
システムリカバリが開始します。システムリカバリが完了したら、**[完了]**をクリックしてコンピューターを再起動します。
- 9 登録処理を行い、デスクトップが表示されるまで待ちます。
- 10 コンピューターの電源を切り、すべての周辺機器を接続しなおして、コンピューターの電源を入れます。
- 11 46 ページの「リカバリ手順実行後の作業」の手順を実行します。

システム起動中のシステムリカバリの開始

Windows 7 を使用できないが、コンピューターが機能する場合は、以下の手順でシステムリカバリを実行します。

注：システムリカバリオプションにより、コンピューターの購入後に作成またはインストールしたすべてのデータまたはプログラムが削除されます。残しておきたいデータは、必ずリムーバブルディスクにバックアップしておいてください。

- 1 コンピューターの電源を切ります。必要であれば、コンピューターの電源が切れるまで電源ボタンを押したままにします。
- 2 キーボードおよびマウス以外に接続されている周辺機器（USB 接続機器、プリンターなど）を、コンピューターからすべて取り外します。

- 44 コンピューターの準備（機能はモデルにより異なります）

- 3 電源ボタンを押し、コンピューターの電源を入れます。
- 4 起動中に HP Invent のロゴが表示されたら、「ファイルを読み込んでいます」というメッセージが表示されるまで、キーボードの [F11] キーを繰り返し押します。
- 5 **[システム リカバリ]** をクリックします。
- 6 ファイルをバックアップするよう求められ、まだバックアップを行っていない場合は、**[ファイルを最初にバックアップしてください]** ボタン→**[次へ]** の順にクリックします。それ以外の場合は、**[ファイルをバックアップせずに復元する]** ボタン→**[次へ]** の順にクリックします。
システムリカバリが開始します。システムリカバリが完了したら、**[完了]** をクリックしてコンピューターを再起動します。
- 7 登録処理を行い、デスクトップが表示されるまで待ちます。
- 8 コンピューターの電源を切り、すべての周辺機器を接続しなおして、コンピューターの電源を入れます。
- 9 46 ページの「リカバリ手順実行後の作業」の手順を実行します。

ユーザーが作成したリカバリディスクからのシステムリカバリの開始

このセクションでは、42 ページの「リカバリディスクの作成」の説明に沿って作成したリカバリディスクからシステムリカバリを実行する手順について説明します。

注：システムリカバリオプションにより、コンピューターの購入後に作成またはインストールしたすべてのデータまたはプログラムが削除されます。残しておきたいデータは、必ずリムーバブルディスクにバックアップしておいてください。

リカバリディスクを使用してシステムリカバリを実行するには、以下の手順で操作します。

- 1 コンピューターが動作する場合は、残しておきたいすべてのデータファイルを DVD にバックアップします。完了したら、ディスクトレイからバックアップディスクを取り出します。



注意：ハードドライブ上のすべてのデータが削除されます。バックアップを行わない場合、すべてのデータが失われます。

- 2 リカバリディスク #1 を DVD ドライブトレイに挿入し、トレイを閉じます。
- 3 コンピューターが動作している場合は、**[スタート]** ボタン→**[シャットダウン]** の順にクリックします。
または
コンピューターが応答しない場合は、コンピューターの電源が切れるまで、約 5 秒間電源ボタンを押したままにします。
- 4 キーボードおよびマウス以外に接続されている周辺機器（USB 接続機器、プリンターなど）を、コンピューターからすべて取り外します。
- 5 電源ボタンを押し、コンピューターの電源を入れます。
システムリカバリをディスクとハードドライブのどちらから行うかを選択するウィンドウが表示された場合は、ディスクから行うオプションを選択し、**[次へ]** をクリックします。
- 6 **[購入時の状態にコンピュータを復元]** を選択します。
- 7 ファイルをバックアップするよう求められ、まだバックアップを行っていない場合は、**[ファイルを最初にバックアップしてください]** ボタン→**[次へ]** の順にクリックします。それ以外の場合は、**[ファイルをバックアップせずに復元する]** ボタン→**[次へ]** の順にクリックします。

- 8 次のリカバリディスクを挿入するよう求められたら、ディスクを挿入します。
- 9 [リカバリ マネージャ] の処理が完了したら、システムからすべてのリカバリディスクを取り出します。
- 10 **[完了]** をクリックしてコンピューターを再起動します。
- 11 コンピューターが再起動したら、3 ページの「コンピューターのセットアップ」を参照します。

リカバリ手順実行後の作業

- 1 [Windows セットアップ] 画面の説明に沿ってセットアップ手順を実行します。
- 2 4 ページの「コンピューターの初めての電源投入」の手順に沿って操作します。

その他のトラブルシューティング

その他のトラブル解決方法については、以下を参照してください。

■ HP Support Assistant

HP Support Assistant は、自動更新、オンボード診断、およびアシスタント機能によりコンピューターのパフォーマンスを維持し、問題をすばやく解決するために役立ちます。

HP Support Assistant を開くには、**[スタート]** ボタン → **[すべてのプログラム]** → **[HP]** → **[HP Support Assistant]** の順にクリックします。

■ Windows 7 のトラブルシューティングツール

Windows 7 には、コンピューターの一般的な問題を自動的に解決できるトラブルシューティングツールが含まれています。Windows 7 のトラブルシューティングツールにアクセスするには、以下の手順で操作します。

- 1 **[スタート]** ボタン → **[コントロール パネル]** の順にクリックします。
- 2 **[システムとセキュリティ]** をクリックします。
- 3 **[アクション センター]** で **[問題の発見と解決]** をクリックします。

索引

- 英数字**
- CD/DVD ディスクの取り出し 17
 - CD/DVD ドライブ
 - トラブルシューティング 31 ~ 32
 - CD/DVD ドライブ、使用 17
 - CyberLink DVD Suite
 - 機能 19
 - HP Advisor 19, 22
 - LAN (ローカルエリアネットワーク)
 - 接続
 - 有線ネットワーク 7
 - 無線 LAN デバイスの確認 9
 - MediaSmart 18
 - Web カメラ 14
 - WEP 9
 - Windows 7 アップデート 11
 - Windows ヘルプとサポート 21
 - WPA 9
- あ行**
- 新しいコンピューターへの情報の転送 12
 - アップデート
 - Windows 11
 - システム 11
 - 安全に関する警告 3
 - インスタント メッセンジャー、ビデオ通話 14
 - インターネットセキュリティ 11
 - ウイルス対策、プログラムのインストール 12
 - 音量、Windows での調整 6
- か行**
- カードリーダー、メモリ 15
 - 快適な作業 22
 - 『快適に使用していただくために』 22
 - 画面の明るさ 17
 - 画面の傾き 13
 - キーボードおよびマウス
 - トラブルシューティング
 - 無線 27 ~ 28
 - クリーニング 41
 - 更新
 - ドライバ 37
 - コンピューター
 - クリーニング 41
 - セットアップ 3
 - 電源投入 4
 - ファイルの転送 12
 - ヘルプとツール 21
 - コンピューターの構成の復元 38
 - コンピューターの再起動 5
 - コンピューターの左右の向き 13
 - コンピューターの上下の向き 13
 - コンピューターのセットアップ 3
- さ行**
- サージ防止機能 3
 - サポート Web サイト 21
 - システムの復元 38
 - システムの復元、Microsoft 38
 - システムリカバリ 42
 - システムリカバリディスク、作成 41, 42
 - 手根管症候群 22
 - 接続
 - ヘッドフォン 6
 - ソフトウェアの修復 37
 - ソフトウェアプログラム
 - CyberLink DVD Suite 19
 - HP Advisor 19
 - 再インストール 39
 - ソフトウェアプログラムの再インストール 39
- た行**
- デジタル画像 15
 - トラブルシューティング
 - CD/DVD ドライブ 31 ~ 32
 - キーボードおよびマウス
 - 無線 27 ~ 28
 - トラブルシューティングの一覧 23
 - 取り付け 31 ~ 32
 - 動画
 - ビデオ チャットのセットアップ 14
 - ドライバ、更新 37
- は行**
- 反復運動過多損傷 (RSI)、『快適に使用していただくために』を参照
 - バックアップ 41
 - パスワード 10
 - ヘッドフォン
 - 接続 6
 - ボタン
 - 取り出し、CD/DVD ドライブ 17

ま行		メモ리카ードリーダー	
マイク		位置	1
Windows での選択	6	メモ리카ードリーダー、使用	15
録音レベルの調整	7	メンテナンス作業	40
無線		ら行	
ネットワークセキュリティ	9	[リカバリ マネージャ]	39
ネットワークデバイス、装備の確認	9	録音レベル、調整	7
無線 LAN セキュリティ	9		

Printed in China

